

# 医者もやっていたお医者様

岡田富美（日章郵便局長）

初代の日本広報協会高知県支部

長をなされた後免町の山本尚一先生が、八月九日昇天され、盛大な告別式に参列しながら、在りし日の先生をしのび、とめない涙を押しさえることが出来ませんでした。昭和四十六年、南国市にライオンズクラブが発足し、初代会長になられた先生は、同時に出来た郵便局の簡易保険の旅行団体、南国タイガースクラブの会長として、ずいぶん郵便局のためにご協力く

ださいました。

年賀状配達の出発式にはユーモアあふれる訓示をし、保険の会のときには無料で講演をしてくださり、ただなのでさすがに悪いと思ひ演壇に水の代わりにビールを出すと「あちこち話にも行ったが、こんなことは初めてだ」と子供のようになら喜んでおられた様子が、今でも目に見えるようです。いろいろの役職にも幅広く就かれ「先生いついたいなに本職です

か、まるで医者はおまけで、医者もやっているとこの感じですね」と言くと、怒るかと思ひのほか「そ

うだ、これはいい。医者もやっていますという本を作ろう」という話になり、随筆や講演されたものなどまとめて自費出版を目前に、仕上がりが目に見えずに、あまりにも慌ただしく逝ってしまわれました。よく本を読まれていましたが、話題も豊富で、人の話でもすぐ「ちよと待つて」と手帳を出してメ

私、次の講演の資料となさり、私どもの意見もよく採り入れられ、自分が間違っていたことが分かる、すぐすなおに撤回されたのは偉かったと思います。

私の勤務先へよく電話をください「今、ここで食事をしてる。すぐ来なさい」「今日は予定があるからためです」「それは断ればいい」「そうはいきません。残業もしていますし」「仕事はいつでも出来る。女はすなおに、はいと言いなさい」いつの間にか巻き込まれて「先生のワンマンには、めつた。振り回される」といつもがつづ言いながら、よくごちそうになりました。

イナ、チヨイナ」と歌うので「それ、先生ご自身のことですか」と言くと「数は数でも私の数は美人な雀が来て止まる」と。また、どどいつをテープに取って、一生懸命練習なさるので「ちよと、ぬかみそにふたをしてきます」と言

つとは、おせじでも褒めなさい」とよく言われていました。いくら酔われても狂わず、自分の所在は必ず明らかにし、たびたびお宅へ連絡して「変わったことではないか」とか、宿直の看護婦さんに「おなかかすいたらラーメンでも取って食べておきなさいよ」とやさしく言っておられました。

7

## 夏休みを楽しく過ごす

### 学童保育の子供たち

共働きの家庭の子供たちに楽しい夏休みを、八月六日から十八日まで、夏休み学童保育が市内四小学校（大篠、後免野田、日章、三和）で行われました。これは、

母親たちで組織する「夏休み学童保育四校連絡会」吉井妙子代表が毎年開いているもので、大篠小、後免野田小は十三回目、日章小と三和小では初めて。

参加者は四校合わせて百五十人、朝八時半から十二時まで、大学の

楽しく遊ぶ子供たち(三和小)

教育学部で勉強している学生が指導者になり、勉強や遊びにと、子供たちは楽しく過ごしました。

初参加の三和小のお母さん、川村美智子さんは「安心して働けるし、子供の顔も生き生きしていました」子供たちからは「学校と違ってとても楽しかった。来年もぜひ来たい」「学童保育が後面倒あつたらいいなあ」などの感想が寄せられています。

世話役を務める吉井妙子さんは「子供たちの生き生きした姿と先生の熱意に感動しました。やはりこれは行政が主体となつてやってほしいです」と、話していました。

いつか、夜中の十二時ごろ、姉が急に悪くなったことがあります。真夜中のことで、どのお医者様にもおいでしていただけなかったとき、先生は三次会でお楽しみの中でしたが、初めての患者にもかかわらず、すぐにおいでくださり、そのときの有り難さは、今でも忘れることは出来ません。

よく、うちへ飲みに行らしては「ここはいつでも、じゃこと漬物とらつきやうがおいしいので、それだけあればいいよ」とおっしゃり、なんでも褒めて褒めて、召し上がってくださいました。

酔えば「医者さんの頭に雀が止まる。止まるはずだよ数じゃもの。チヨ

率先して老人ホームを設立し、南国署嘱託医、献血、その他すいぶん社会奉仕をなさつた先生。アイデアアマンで、人情家で、言いたいほうだい言う私たちにも少しも怒らず、ずいぶん優しくしていただきました。

せめてもう少し元気で居てほしい。いい指導者を失つたと残念でなりません。先生のためにいつでも間に合うように置いてあつたビールやウイスキーも今度は、お茶へお供えしなくては、と思うと寂しさと人生のはかなさをしみじみと感じます。

お医者さんもしていた先生、どうぞ安らかに眠りください。